



Fiery Remote Scan

Fiery Remote Scan を使用することで、Fiery サーバーとプリンターのスキャナー機能をリモートのコンピューターから管理できます。

Fiery Remote Scan では次の操作が可能です。

- プリンターの原稿台ガラスまたは ADF（自動用紙フィーダー）からドキュメントのスキャンを開始する。
- メールボックス内のスキャンファイルにアクセスする。

メモ：

プリンターや Fiery サーバーによってはリモートでスキャンを開始する機能がサポートされていません。その場合は、メールボックス内のスキャンファイルを取り出すオプションだけが表示されます。**スキャン**は使用できません。

Fiery サーバーへの接続

Fiery Remote Scan ウィンドウの **Fiery サーバー** リストに表示されたサーバーに接続できます。

次の点に注意してください。

- Fiery Remote Scan を初めて使用するときは、少なくとも 1 つの Fiery サーバーへの接続を設定する必要があります。
- Fiery サーバーへの接続を設定するには、IP アドレスまたはサーバー名が必要です。この情報は、システム管理者にお問い合わせください。ネットワーク上でいつでも Fiery サーバーを検索できます。
- 2 回目以降、Fiery Remote Scan は前回のセッションで接続した最後の Fiery サーバーに自動的に接続しようとしています。
- Fiery Remote Scan と利用可能な Fiery サーバーとの接続設定が完了すると、それらの Fiery サーバーが **Fiery Remote Scan** ウィンドウの **Fiery Server** リストに表示されます。
- 複数の Fiery サーバーを **Fiery Server** リストに追加しておき、リストから必要なものを選択できます。複数の Fiery サーバーを **Fiery Server** リストに追加しておく、同じセッションで複数の Fiery サーバーを使いたいときに便利です。**Fiery サーバー追加ダイアログボックス**を開かなくても、**Fiery Remote Scan** ウィンドウで Fiery サーバーを切り替えることができます。

初めて使う Fiery サーバーに接続する

Fiery サーバーは、名前、IP アドレス、またはサブネットで検索できます。

- 1 **Fiery Remote Scan** を開きます。
Fiery サーバー追加ウィンドウが表示され、ローカルネットワークで検出されたすべての Fiery サーバーが表示されます。
- 2 リストから Fiery サーバーを選択するか、Fiery サーバー名または IP アドレスを入力します。

- 3 Fiery サーバーの IP アドレスがわからない場合は、次のいずれかを実行します。
 - **高度な検索**を選択します。
 - **IP 範囲**または**サブネット**を選択して検索範囲を指定する。
- 4 結果リストから Fiery サーバーを選択し、**追加**をクリックします。Fiery Remote Scan を Fiery サーバーに接続します。

Fiery サーバー追加

Fiery Remote Scan で Fiery サーバーへの最初の接続が設定済みの場合、いつでも Fiery サーバーを追加できます。

- 1 Fiery Remote Scan を開きます。
- 2 + (プラス) アイコンをクリックして **Fiery サーバーを追加**ダイアログボックスを開きます。
- 3 検出されたサーバーのリストから Fiery サーバーを選択するか、サーバーの名前または IP アドレスを入力します。
- 4 Fiery サーバーが一覧に表示されない場合は、次の操作を行います。
 - a) **高度な検索**を選択します。
 - b) **IP 範囲**または**サブネット**を選択して検索範囲を指定する。
- 5 **追加**をクリックします。

サーバーリストの既存の Fiery サーバーに接続する

リスト内の別のサーバーに接続できます。

- **Fiery サーバー**リストからサーバーを選択してください。

メールボックス

メールボックスタブを使用すると、選択した Fiery サーバーの指定したメールボックスの内容を表示したり、ファイルを取り出したりすることができます。

Fiery Remote Scan を開くと、デフォルトで**メールボックス**タブが選択されています。メールボックスにアクセスするには、メールボックスのユーザー名とパスワードを入力します。メールボックスの名前はユーザー名と常に同じになります。スキャンジョブ用のメールボックスを作成する権限は、Fiery サーバーの管理者が **Configure** の**ユーザーアカウント**セクションで設定します。**ユーザーアカウント**の詳細は、『**Configure** のヘルプ』を参照してください。または『**Fiery Command WorkStation** のヘルプ』の「**Fiery サーバーの設定**」セクションを参照してください。

Fiery サーバーによってはリモートでスキャンを開始する機能がサポートされていません。その場合は、メールボックス内のスキャンファイルを取り出すオプションだけが表示されます。

メールボックスをネットワークの特定の場所にマッピングすることもできます。

ドキュメントのスキャン

Fiery Remote Scan ウィンドウの「スキャン」タブを使用すると、プリンター上でスキャンを開始し、スキャンした内容を選択した Fiery サーバーに保存することができます。

Fiery Remote Scan からスキャンする

Fiery Remote Scan から**スキャン**タブを使用して、オプションを設定したり、スキャンを開始できます。スキャンの設定は、Fiery サーバーおよびプリンターの機能によって決まります。

- 1 **スキャン**タブでスキャンのオプションを選択します。
これらのオプションの一部（**ソース**、**方向**、**両面**など）は、プリンターがその機能に対応していないと表示されないことがあります。
 - **ソース - プラテン**（プリンターの原稿台ガラス）または **ADF**（自動用紙フィーダー）をスキャンソースとして選択します。
 - **方向** - プリンター上のソースドキュメントの方向を指定します。
 - **サイズ** - ソースドキュメントのページサイズを選択します。
 - **解像度** - スキャンの解像度を選択します。
 - **スキャン面** - **片面**か**両面**かを選択します。
 - **カラーモード** - **白黒**、**グレースケール**または**カラー**を選択します。
- 2 **スキャン**をクリックします。
- 3 **別名保存**ダイアログボックスで、スキャンファイルのファイル名、ファイル形式および保存先を指定します。
- 4 **別名保存**ダイアログボックスの**保存**をクリックしてスキャンを開始します。
キャンセルをクリックすると、**Fiery Remote Scan** ウィンドウに戻り、スキャンは完了しません。

メールボックス内のスキャンファイルを取り出す

メールボックスタブに、選択した Fiery サーバー上の特定のメールボックス内のすべてのスキャンファイルが表示され、そこからファイルを取り出すことができます。

- 1 メールボックスのユーザー名とパスワードを入力してアクセスします（ユーザー名はメールボックスの名前と同じです）。
- 2 目的のスキャンファイルを選択します。
- 3 **別名保存**ダイアログボックスをクリックし、スキャンファイルのファイル名、ファイル形式および保存先を指定します。
- 4 **削除**をクリックしてメールボックス内のスキャンファイルを削除します。
メモ：マッピング先のフォルダーからスキャンファイルを削除すると、対応するメールボックスからも削除されます。

メールボックスおよびメールボックスフォルダーの管理

メールボックス機能は、Fiery サーバー上の指定したメールボックスの内容を表示したり、ファイルを取り出したりするために使います。

Fiery Remote Scan を開くと、デフォルトで**メールボックス**タブが選択されています。

メールボックスにアクセスする

メールボックスにアクセスするには、メールボックスのユーザー名とパスワードを入力します。

スキャンジョブ用のメールボックスを作成する権限は、Fiery サーバーの管理者が **Configure** の **ユーザーアカウント** セクションで設定します。メールボックスの名前はユーザー名と常に同じになります。詳細は、『Configure のヘルプ』または『Fiery Command WorkStation のヘルプ』の「Fiery サーバーの環境設定」セクションを参照してください。

- 1 **メールボックス変更** をクリックします。
- 2 **ログイン** ダイアログボックスに、ユーザー名とパスワードを入力します。
- 3 **ログイン** をクリックします。
- 4 次回の接続時にメールボックスに自動でログインする場合は、**ログイン状態を保持** を選択します。
メールボックスに自動でログインするように設定した場合、別のメールボックスにログインするときは、まずログアウトする必要があります。
メールボックス内のスキャンファイルの一覧が表示されます。
- 5 目的のスキャンファイルを選択します。
- 6 **別名保存** ダイアログボックスをクリックし、スキャンファイルのファイル名、ファイル形式および保存先を指定します。
- 7 **削除** をクリックしてメールボックス内のスキャンファイルを削除します。
- 8 **閉じる** をクリックします。

メールボックスをネットワーク上のフォルダーにマッピングする

Fiery Remote Scan では、メールボックスをローカルコンピューターまたはリモートサーバーの特定のフォルダーにマッピングすることができます。メールボックスに送ったスキャンは、指定したフォルダーにも送られ、そこから取り出すことができます。

- 1 メールボックスにログインします。
- 2 **Fiery Remote Scan** ウィンドウの **メールボックスとフォルダーをマッピング** リンクをクリックします。
- 3 **メールボックスとフォルダーをマッピング** ダイアログボックスで、**メールボックスとフォルダーのマッピングを使用** を選択します。
- 4 マッピング先のフォルダーを参照して指定します。
- 5 **OK** をクリックします。

メモ： Remote Scan が指定フォルダーにアクセスできない、またはメールボックスに接続できないというメッセージが表示された場合は、ネットワークの接続を確認し、再度試してください。

マッピング先のフォルダーを開く

フォルダーマッピングが有効になっているとき、マッピング先のフォルダーを Mac OS コンピューターのメニューまたは Windows コンピューターのタスクバーから開くことができます。これらのメニューで表示されるのは設定済みのフォルダーです。

- Mac OS の Finder または Windows のエクスプローラーでフォルダーアイコンをクリックして開きます。

Fiery Remote Scan のトラブルシューティング

Fiery Remote Scan で問題が生じた場合のトラブルシューティングには、いくつかの方法があります。

より詳細な情報やサポートが必要な場合には、登録ユーザーは [Fiery Communities](#) でディスカッションを始められます。

スキャンジョブに時間がかかる

以前のジョブが完了していないためにジョブが遅れている可能性があります。

- 現在印刷中または処理中のジョブがないか確認してください。
印刷または処理が完了すると、スキャンが開始されます。

スキャンジョブが失敗する

プリンターへの電力供給が断たれているか記憶領域が不足してスキャンが失敗することがあります。

- 次の確認を行います。
 - プリンターが節電モードか電源オフになっていないか。
この場合は、プリンターの節電モードを解除し、十分にウォームアップしてからスキャンします。
 - スキャンする前にハードディスクに少なくとも 800 MB（できれば 1 GB）の空き領域があるか。
ローカルハードディスク上の一時ファイルのためにはこの程度の空き領域が必要で、読み込もうとしている画像やドキュメントのファイルサイズの少なくとも 3 倍の領域を確保してください。ハードディスク上に十分な空き領域がないと、Fiery サーバーからジョブが削除され、エラーメッセージが表示され、エラーがジョブログに記録されます。

Fiery Remote Scan から Fiery サーバーに接続できない

接続が正しく設定されていないと、Fiery Remote Scan から Fiery サーバーに接続できません。

- 接続が正しく設定されているか確認してください。
詳しくは、[Fiery サーバーへの接続](#)（1 ページ）と取扱説明書の『設定管理』を参照してください。